

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2009年第9号(週報)

2009年第9週(2月23日~3月1日)

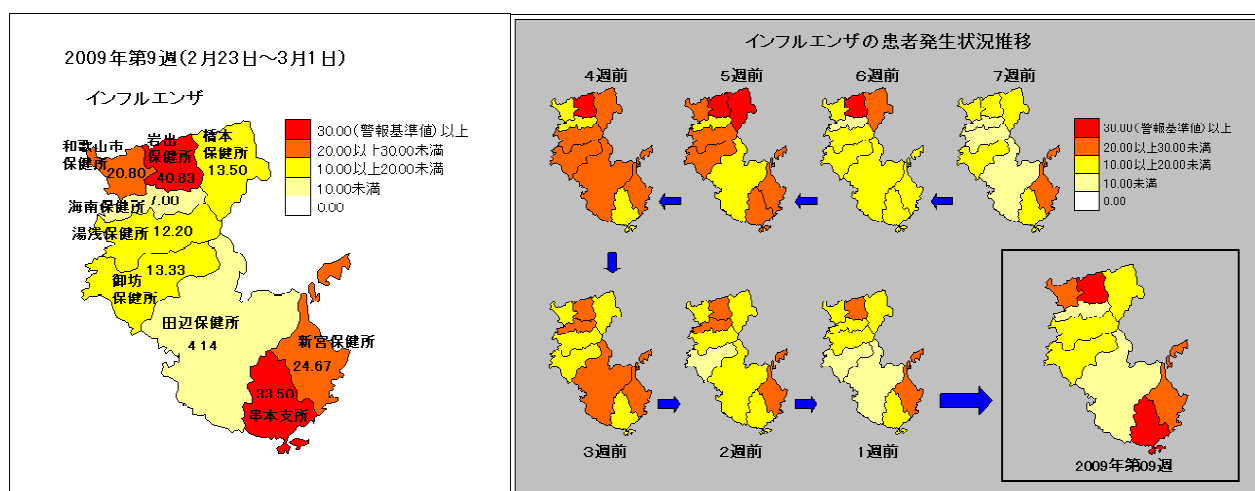
◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

ー インフルエンザ : 流行は長期化の様相!ー

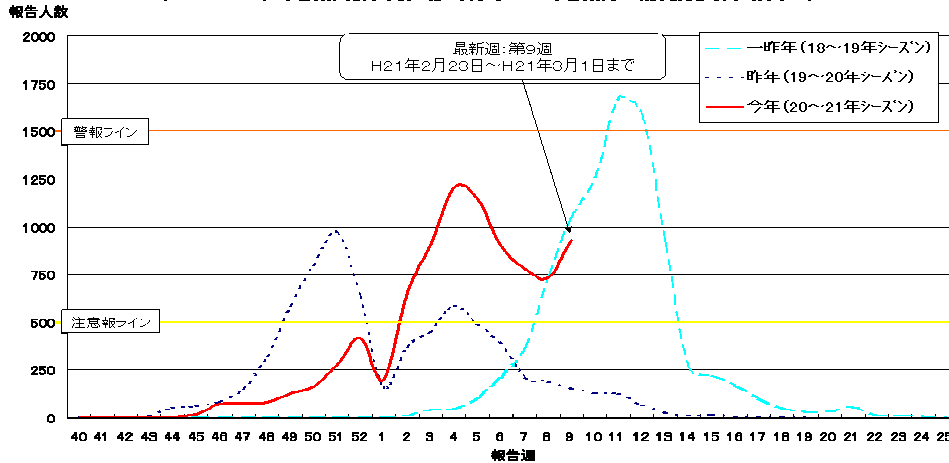
和歌山県内の患者報告については、第4週(1/19~1/25)に今シーズン最高となる定点医療機関当たり24.16人に達した。その後は減少傾向が見られ、前週(第8週:2/16~2/22)は14.66人となったが、第9週は再び増加に転じ18.60人となった。県内の流行は長期化の様相を呈してきた。

地域別の定点医療機関当たり報告数は、岩出保健所管内(40.83人)が最も多く、次いで串本支所(33.50人)、新宮保健所管内(24.67人)の順で多い。これらの地域は減少傾向から増加に転じている。現在のところ、海南保健所管内や田辺保健所管内には減少傾向が見られるが、これらの地域も再び増加に転じる可能性があるため注意が必要である。現在、岩出、橋本保健所管内及び串本支所管内に警報、和歌山市、湯浅、御坊及び新宮保健所管内に注意報が発令されている。串本支所管内の警報については今週発令され、御坊保健所管内の注意報については第6週(2/2~2/8)以来となる再度の発令となった。なお、インフルエンザの警報については定点医療機関当たりの報告数が30.0人(解除は10.0人未満)、注意報については10.0人に達した時に発令される。

国立感染症研究所が発行するIDWR(2009年第7週)によると、前年第36週(9/1~9/7)から今年第7週(2/9~2/15)にかけて国内で分離されたインフルエンザウイルス(46都道府県、2,809件)の内訳は、AH1亜型[Aソ連](56.1%)、AH3亜型[A香港](32.0%)、B型(11.9%)となっており、AH1亜型[Aソ連]の割合が最も多い。県環境衛生研究センターで分離した和歌山県内(ただし、和歌山市は除く)におけるインフルエンザウイルス(62件)の内訳については、AH1亜型[Aソ連](21件、33.9%)、AH3亜型[A香港](39件、62.9%)、B型(2件、3.2%)であり、AH3亜型[A香港]が最も多いが、1月以降の分離ではAH1亜型[Aソ連]が多い。患者報告が再び増加しているため、今後ウイルス分離の結果についても注視していく必要がある。



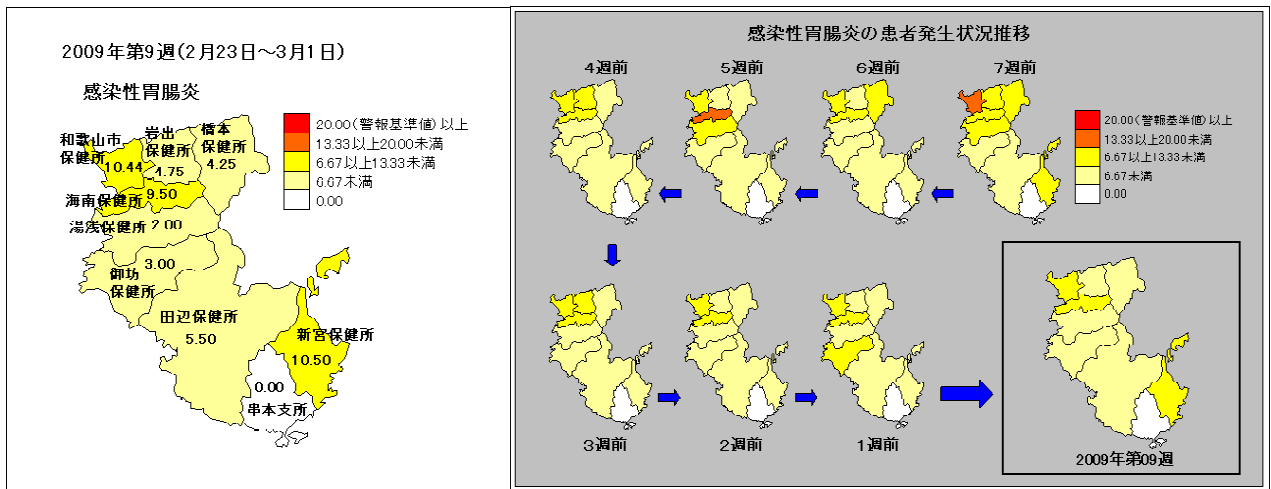
インフルエンザ定点報告推移(県内50定点医療機関集計分)



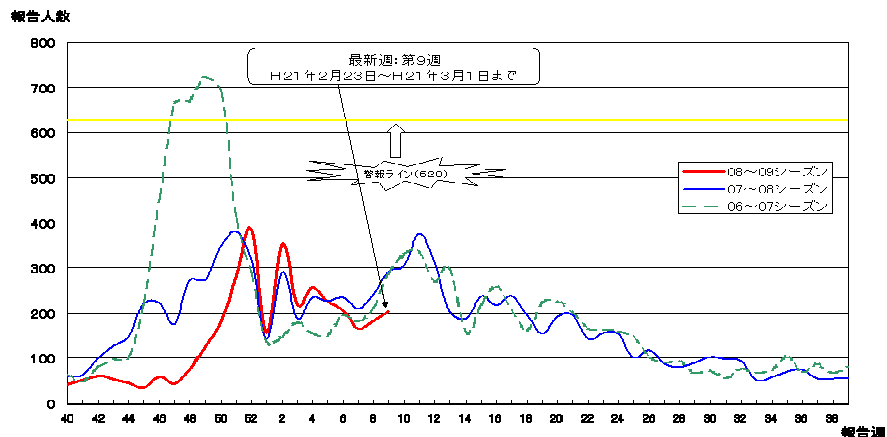
一 感染性胃腸炎 : 新宮保健所管内の患者数急増! 一

県内の患者報告数については、前年第52週(12/22~12/28)から第2週(1/5~1/11)のピーク(11.58人~12.42人)を境に減少傾向にある。第9週の報告数は過去5年(2004年~2008年)の同時期と比較して少ない。

地域別の定点医療機関当たり報告数については、新宮保健所管内(10.50人)、和歌山市保健所管内(10.44人)、海南保健所管内(9.50人)の順で多い(他の地域は0人~5.50人)。県内では和歌山市保健所管内と海南保健所管内において比較的多い状況で推移してきたが、第9週は新宮保健所管内の報告数がこれらの地域と同レベルまで増加した。同管内では前週(第8週:2/16~2/22)の2.50人から10.50人へと大きく増加しており、今後の動向を注視する必要がある。

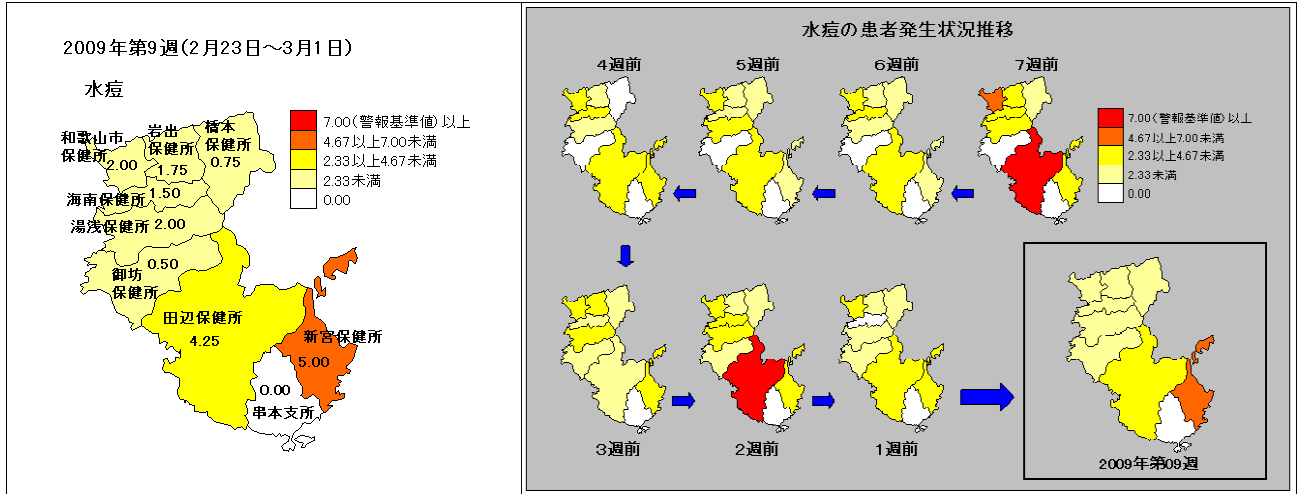


感染性胃腸炎推移(県内31定点医療機関集計分)



－ **水痘** ： **田辺保健所管内に警報、新宮保健所管内に注意報発令中！** －

県内における定点医療機関当たり患者報告数は2.10人と、過去5年の同時期と比較して特に多くはない。地域別では田辺保健所管内に警報、新宮保健所管内に注意報が発令されている。地域別の定点医療機関当たり報告数については、新宮保健所管内（5.00人）、田辺保健所管内（4.25人）の順が多い（他の地域は0人～2.00人）。新宮保健所管内については第9週で5週連続の増加となるがその増加は緩やかである。田辺保健所管内については増減を繰り返しながらも比較的多い報告で推移している。なお、水痘の警報については定点医療機関当たりの報告数が7.0人（解除は4.0人未満）、注意報については4.0人に達した時に発令される。



◆◆ **全数把握感染症について** ◆◆

＜届出状況＞ ※当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1類感染症：報告はありませんでした。
- 2類感染症：報告はありませんでした。
- 3類感染症：報告はありませんでした。
- 4類感染症：報告はありませんでした。
- 5類感染症：麻しん1名

◆◆ **5類定点把握感染症（週報）について** ◆◆

＜警報注意報発令状況＞

警報発令

インフルエンザ（岩出保健所管内、橋本保健所管内、串本支所管内）
水痘（田辺保健所管内）

注意報発令

インフルエンザ（和歌山市保健所管内、湯浅保健所管内、御坊保健所管内、新宮保健所管内）
水痘（新宮保健所管内）

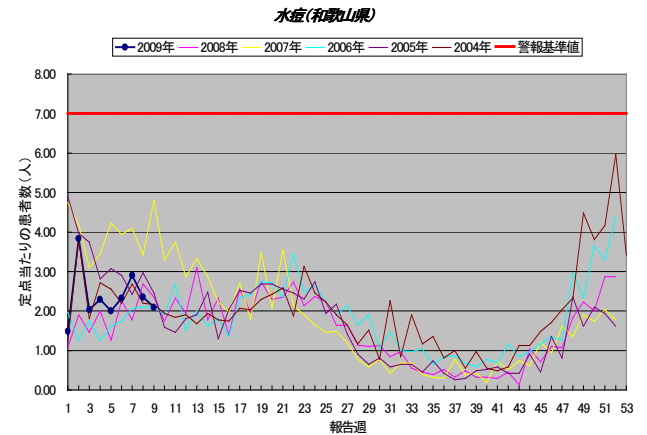
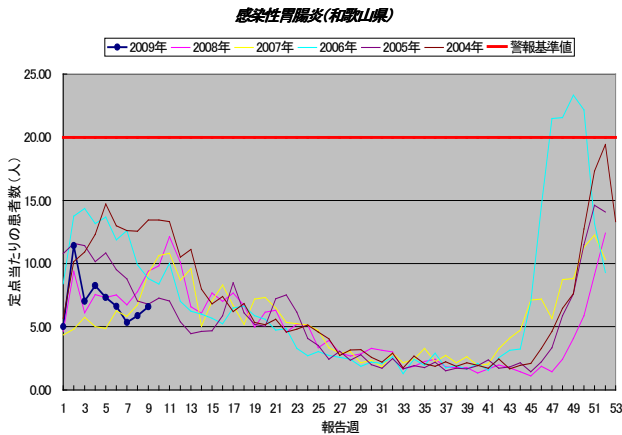
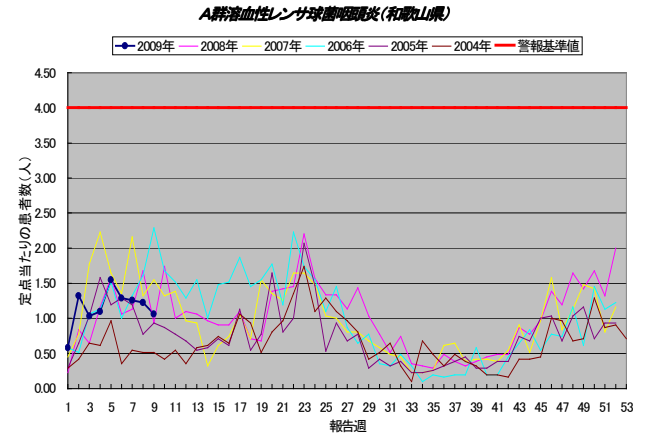
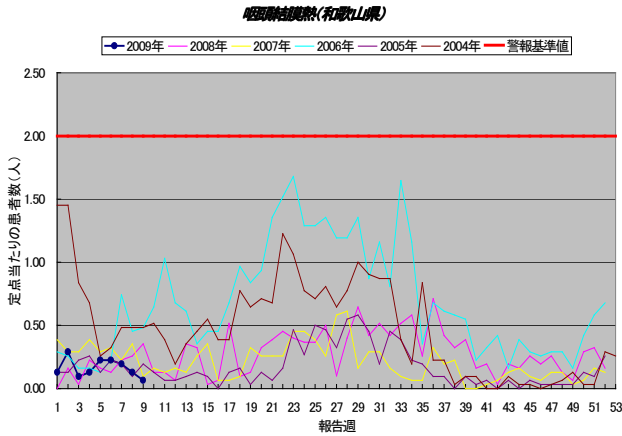
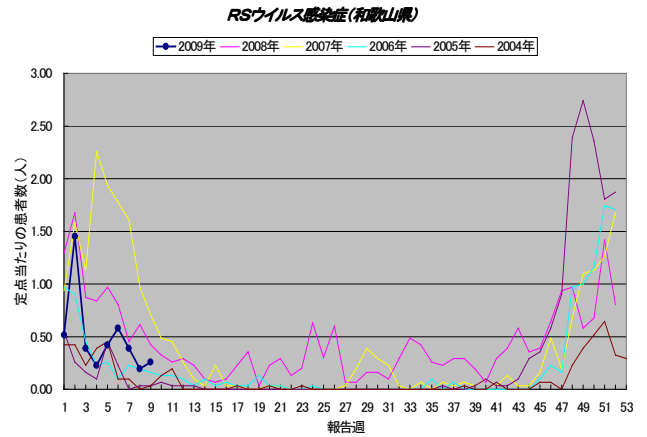
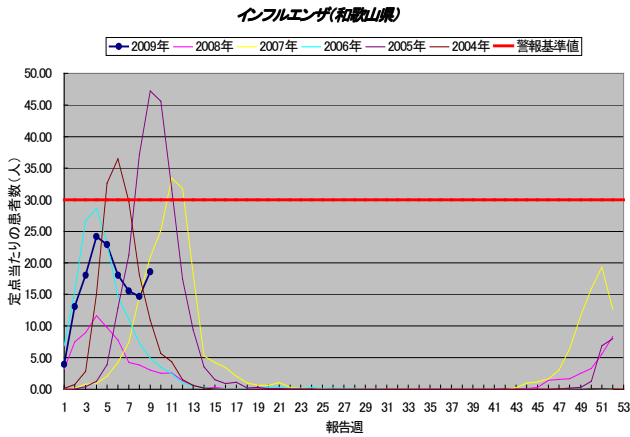
＜患者数上位 5 位＞

※ () 内の数値は定点医療機関当たりの患者数

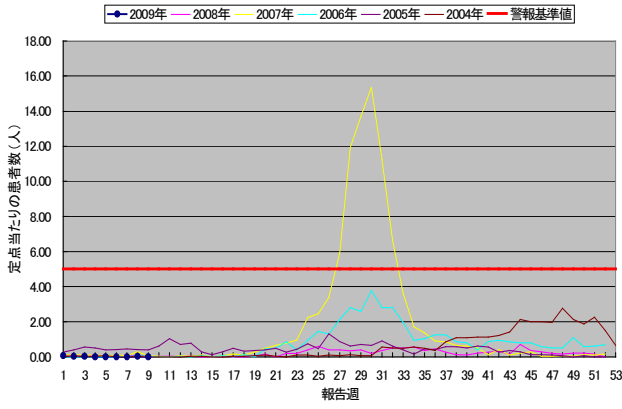
- 1位 インフルエンザ(18.60)
- 2位 感染性胃腸炎(6.58)
- 3位 水痘(2.10)
- 4位 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(1.06)
- 5位 突発性発疹(0.77)

＜週報定点グラフ総覧＞

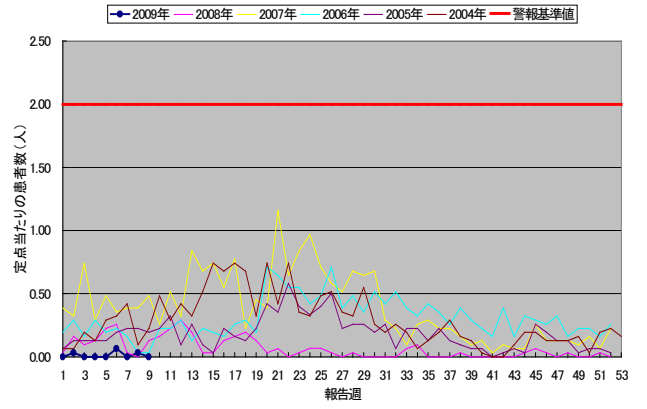
1. 患者数の推移（過去 5 年の推移と比較）



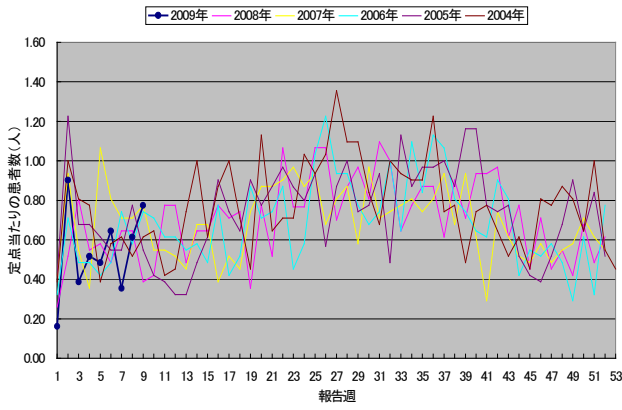
手足口病(和歌山県)



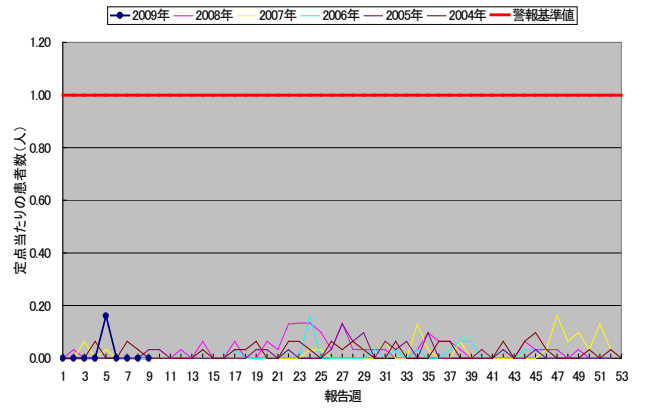
伝染性紅斑(和歌山県)



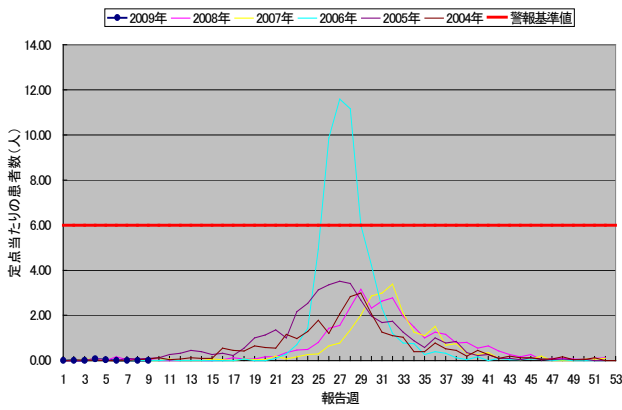
突発性発疹(和歌山県)



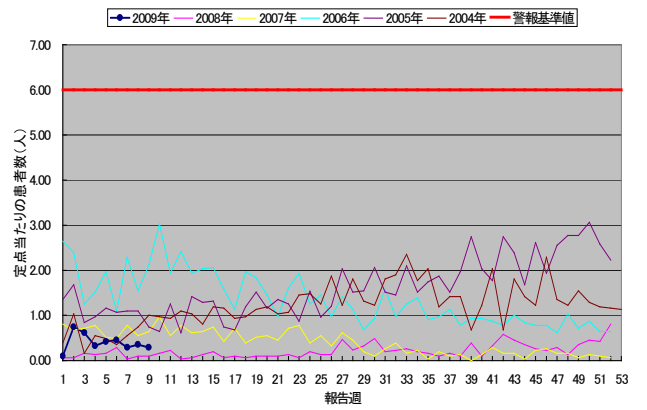
百日咳(和歌山県)



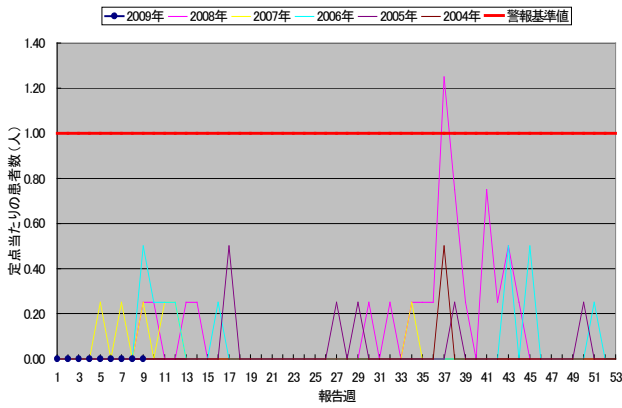
ヘルペシナ(和歌山県)



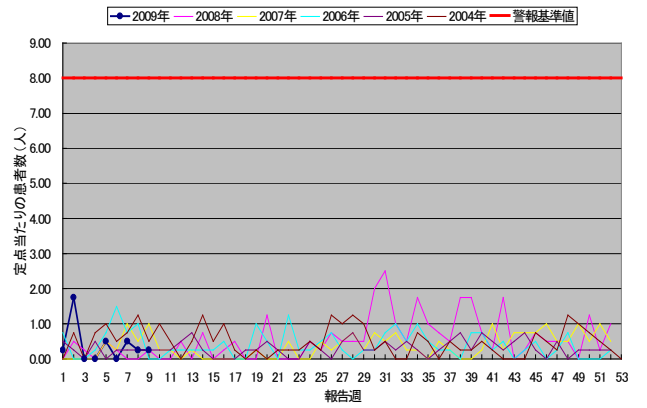
流行性耳下腺炎(和歌山県)



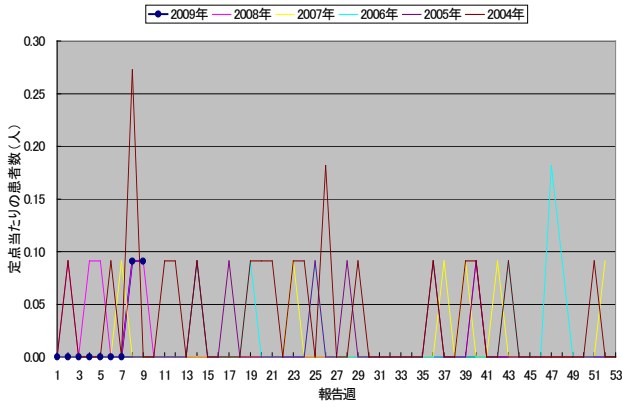
急性出血性結膜炎(和歌山県)



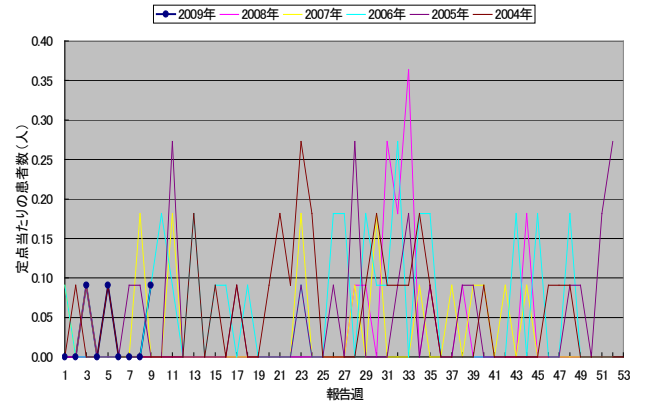
流行性角結膜炎(和歌山県)



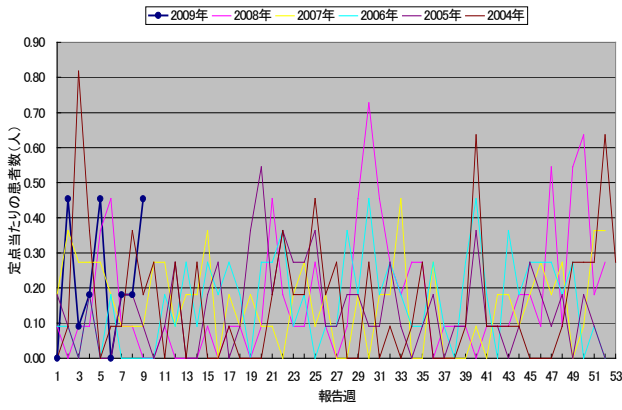
細菌性髄膜炎(和歌山県)



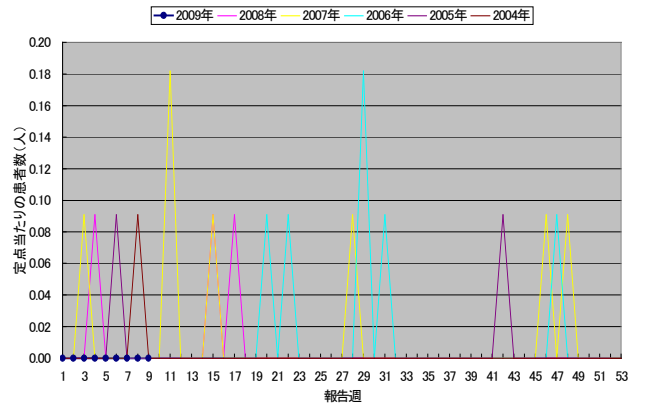
無菌性髄膜炎(和歌山県)



マイコプラズマ肺炎(和歌山県)

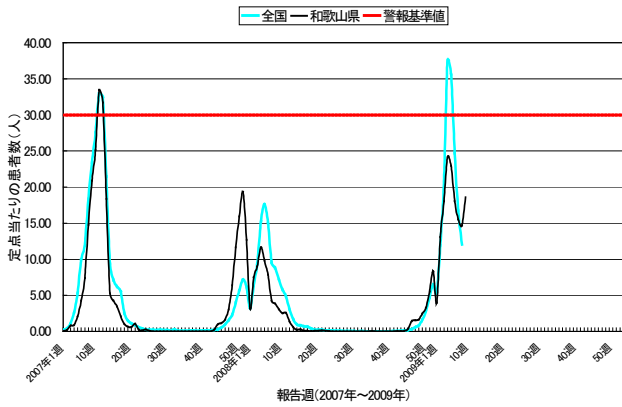


クラミジア肺炎(和歌山県)

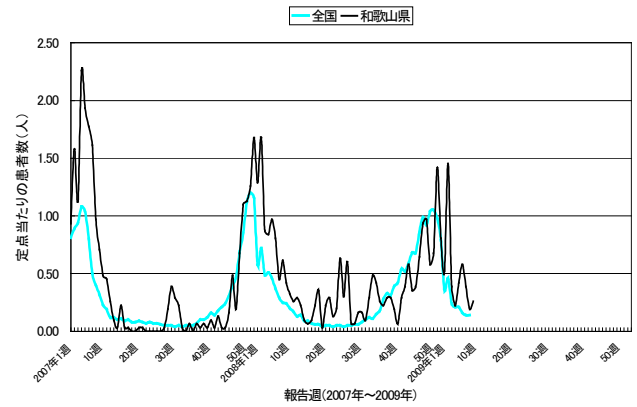


2. 患者数の推移 (全国と比較)

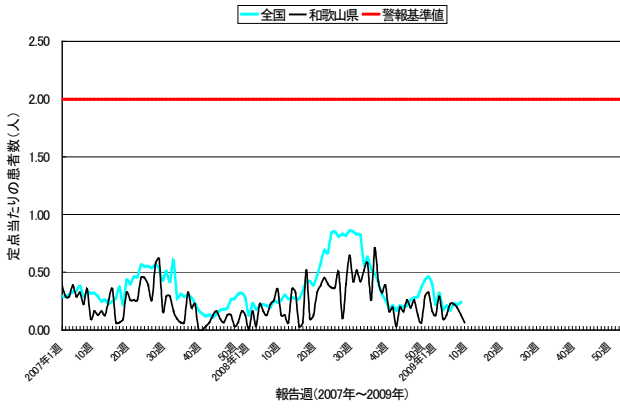
インフルエンザ



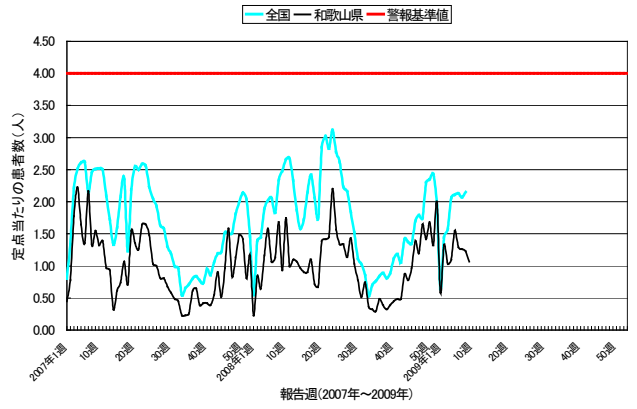
RSウイルス感染症



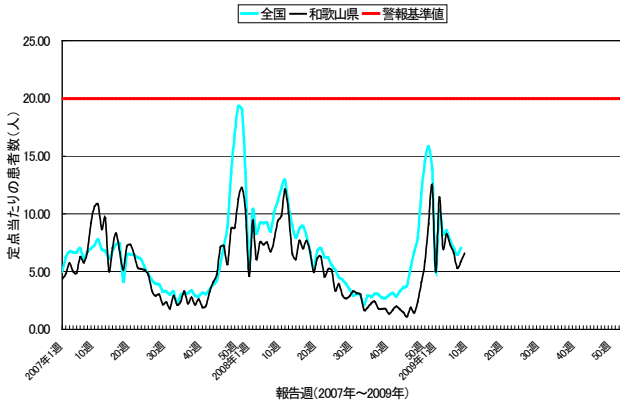
伝染性髄膜炎



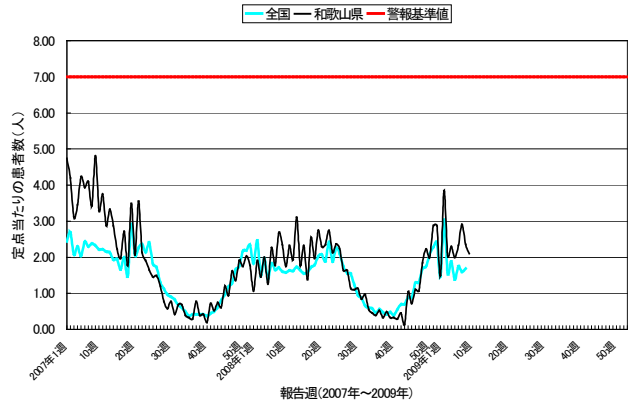
A群溶血性レンガ球菌咽頭炎



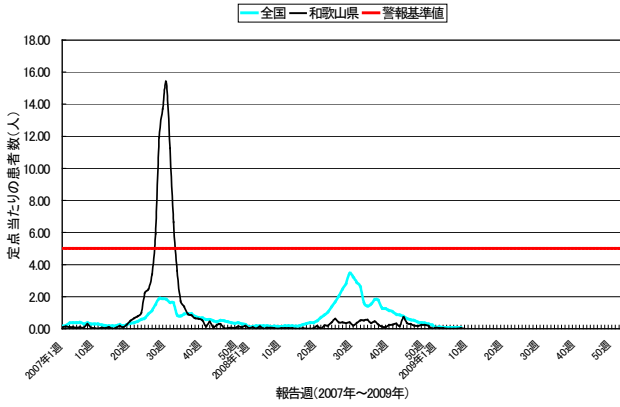
感染性胃腸炎



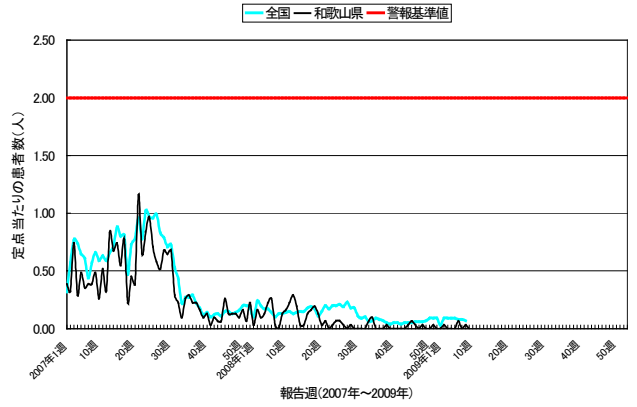
水痘



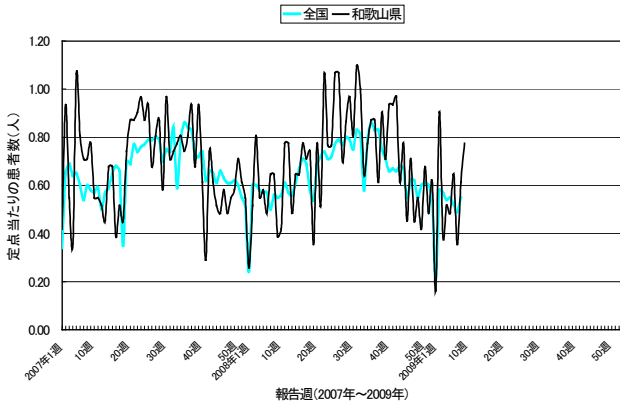
手足口病



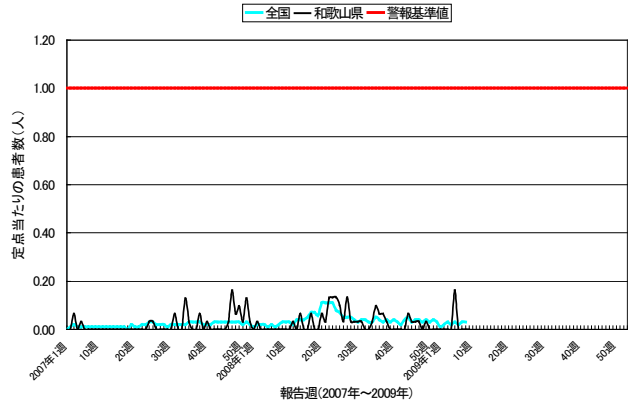
伝染性紅斑



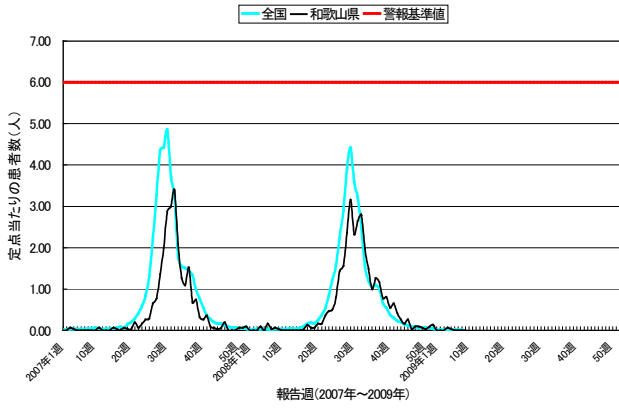
突刺性麻疹



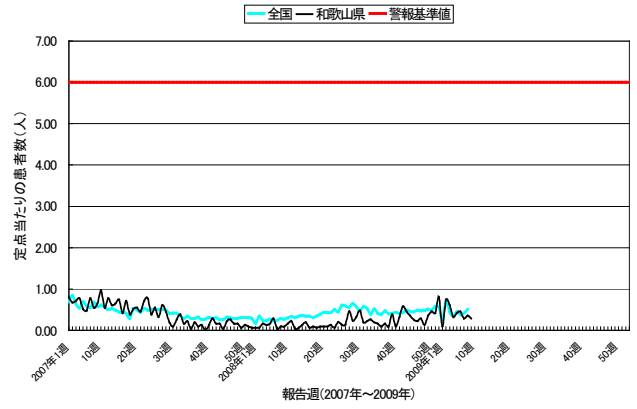
百日咳



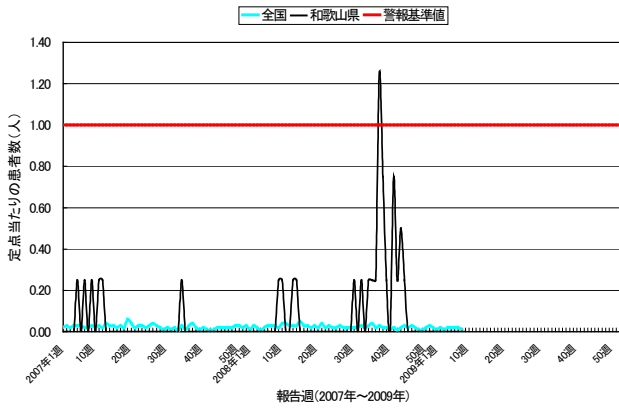
ヘルペギナ



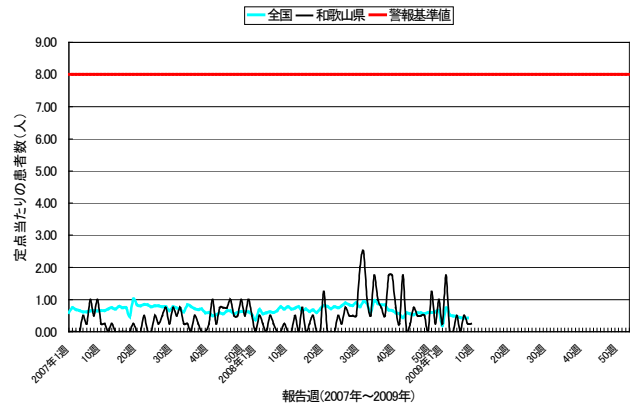
流行性耳下腺炎



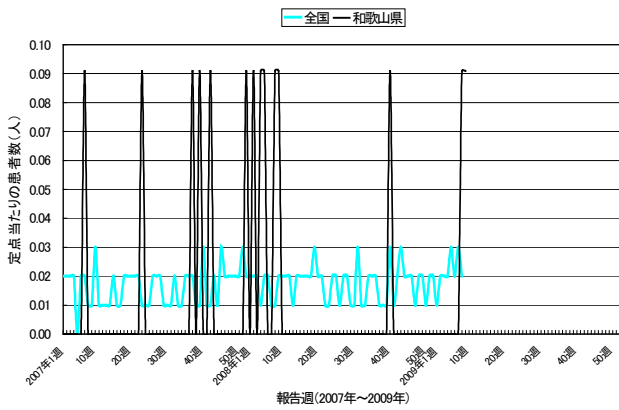
急性出血性結膜炎



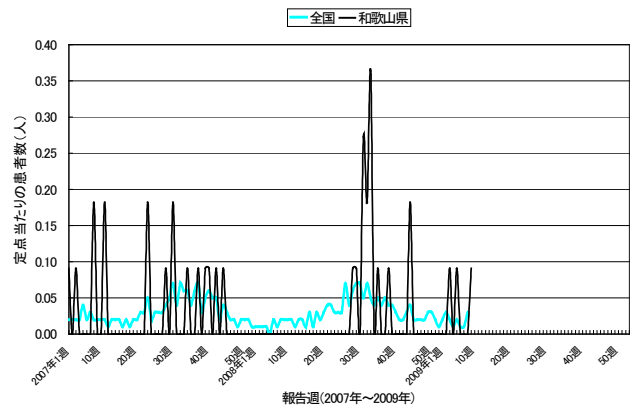
流行性角結膜炎



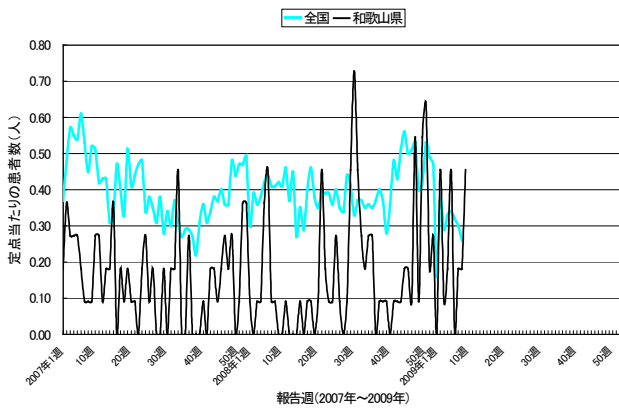
細菌性結膜炎



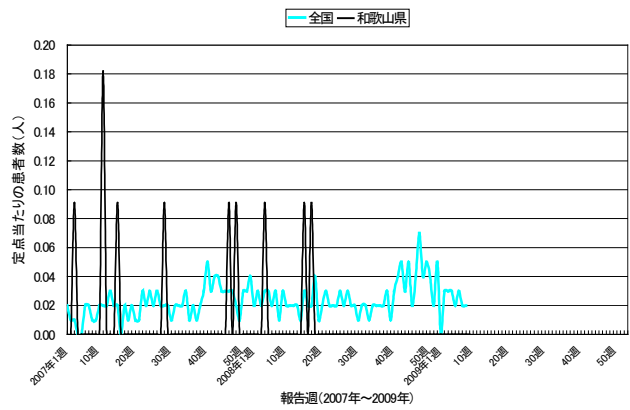
無菌性結膜炎



マイコプラズマ肺炎



ケミジ肺炎



◆◆ 集計データ ◆◆

<全数把握対象感染症>

2009年第9週 保健所別の患者報告数 ()内は2009年累計

分類	感染症名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮 (串本)
1類	エボラ出血熱										
	クリミア・コンゴ出血熱										
	痘そう										
	南米出血熱										
	ペスト										
	マールブルグ病										
2類	ラッサ熱										
	急性灰白髄炎										
	結核	0(29)	0(13)	0(1)	0(4)	0(3)	0(3)	0(1)	0(3)	0(1)	
	ジフテリア										
	重症急性呼吸器症候群										
3類	鳥インフルエンザ(H5N1)										
	コレラ										
	細菌性赤痢										
	腸管出血性大腸菌感染症	0(2)		0(1)						0(1)	
4類	腸チフス										
	パラチフス										
	E型肝炎										
	ウエストナイル熱										
	A型肝炎										
	エキノкокクス症										
	黄熱										
	オウム病										
	オムスク出血熱										
	回帰熱										
	キャサヌル森林病										
	Q熱										
	狂犬病										
	コクシジオイデス症										
	サル痘										
	腎症候性出血熱										
	西部ウマ脳炎										
	ダニ媒介脳炎										
	炭疽										
	つつが虫病	0(1)								0(1)	
	デング熱										
	東部ウマ脳炎										
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)										
	ニパウイルス感染症										
	日本紅斑熱										
	日本脳炎										
	ハンタウイルス肺症候群										
	Bウイルス病										
	鼻疽										
	ブルセラ症										
	ベネズエラウマ脳炎										
	ヘンドラウイルス感染症										
	養しんチフス										
	ポツリヌス症										
	マラリア										
	野兔病										
ライム病											
リッサウイルス感染症											
リフトバレー熱											
類鼻疽											
レジオネラ症											
レプトスピラ症											
ロッキー山紅斑熱											
5類	アメーバ赤痢	0(2)	0(2)								
	ウイルス性肝炎	0(1)					0(1)				
	急性脳炎										
	クリプトスポリジウム症										
	クロイツフェルト・ヤコブ病										
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										
	後天性免疫不全症候群										
	ジアルジア症										
	髄膜炎菌性髄膜炎										
	先天性風しん症候群										
	梅毒	0(1)	0(1)								
	破傷風										
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症										
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症										
	風しん										
麻疹	1(1)			1(1)							

< 定点把握感染症（週報） >

10週分（2008年52週～2009年09週）の患者報告数（和歌山県） ※○印は警報、△印は注意報

疾病名	2008年52週	2009年01週	2009年02週	2009年03週	2009年04週	2009年05週	2009年06週	2009年07週	2009年08週	2009年09週
インフルエンザ	417	196	△654	△903	△1208	△1146	△903	△777	△733	△930
RSウイルス感染症	25	16	45	12	7	13	18	12	6	8
咽頭結膜熱	5	4	9	3	4	7	7	6	4	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	18	41	32	34	48	40	39	38	33
感染性胃腸炎	385	155	354	218	256	227	205	165	182	204
水痘	89	46	119	63	71	62	72	90	73	65
手足口病	0	2	1	1	0	0	0	0	1	0
伝染性紅斑	0	0	1	0	0	0	2	0	1	0
突発性発疹	19	5	28	12	16	15	20	11	19	24
百日咳	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	4	0	0	0	2	1	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	25	3	23	19	10	13	14	9	11	9
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	4	1	7	0	0	2	0	2	1	1
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
無菌性髄膜炎	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
マイコプラズマ肺炎	3	0	5	1	2	5	0	2	2	5
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

10週分（2008年52週～2009年09週）の定点当たり患者報告数（和歌山県） ※○印は警報△印は注意報

疾病名	2008年52週	2009年01週	2009年02週	2009年03週	2009年04週	2009年05週	2009年06週	2009年07週	2009年08週	2009年09週
インフルエンザ	8.34	3.92	△13.08	△18.06	△24.16	△22.92	△18.06	△15.54	△14.66	△18.60
RSウイルス感染症	0.81	0.52	1.45	0.39	0.23	0.42	0.58	0.39	0.19	0.26
咽頭結膜熱	0.16	0.13	0.29	0.10	0.13	0.23	0.23	0.19	0.13	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00	0.58	1.32	1.03	1.10	1.55	1.29	1.26	1.23	1.06
感染性胃腸炎	12.42	5.00	11.42	7.03	8.26	7.32	6.61	5.32	5.87	6.58
水痘	2.87	1.48	3.84	2.03	2.29	2.00	2.32	2.90	2.35	2.10
手足口病	0.00	0.06	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00
伝染性紅斑	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.03	0.00
突発性発疹	0.61	0.16	0.90	0.39	0.52	0.48	0.65	0.35	0.61	0.77
百日咳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.16	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	0.13	0.00	0.00	0.00	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	0.81	0.10	0.74	0.61	0.32	0.42	0.45	0.29	0.35	0.29
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	1.00	0.25	1.75	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.25	0.25
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.09
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00	0.09
マイコプラズマ肺炎	0.27	0.00	0.45	0.09	0.18	0.45	0.00	0.18	0.18	0.45
クラミジア肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

2009年9週 保健所別の患者報告数 ※○印は警報、△印は注意報、－は定点医療機関なし

疾病名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮(串本)
インフルエンザ	△930	△312	○245	○81	21	△61	△40	29	△74	○67
RSウイルス感染症	8	4	1	0	1	0	1	1	0	0
咽頭結膜熱	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	11	4	1	4	2	0	11	0	0
感染性胃腸炎	204	94	19	17	19	6	6	22	21	0
水痘	65	18	7	3	3	6	1	○17	△10	0
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	24	11	3	3	1	0	1	4	1	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	9	4	1	0	0	1	0	1	2	0
急性出血性結膜炎	0	0	－	－	－	－	－	0	－	－
流行性角結膜炎	1	1	－	－	－	－	－	0	－	－
細菌性髄膜炎	1	0	0	1	－	0	0	0	0	－
無菌性髄膜炎	1	0	0	0	－	1	0	0	0	－
マイコプラズマ肺炎	5	0	3	0	－	0	2	0	0	－
クラミジア肺炎	0	0	0	0	－	0	0	0	0	－

2009年9週 保健所別の定点当たり患者報告数 ※○印は警報、△印は注意報、－は定点医療機関なし

疾病名	和歌山県	和歌山市	岩出	橋本	海南	湯浅	御坊	田辺	新宮	新宮(串本)
インフルエンザ	△18.60	△20.80	○40.83	○13.50	7.00	△12.20	△13.33	4.14	△24.67	○33.50
RSウイルス感染症	0.26	0.44	0.25	0.00	0.50	0.00	0.50	0.25	0.00	0.00
咽頭結膜熱	0.06	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.06	1.22	1.00	0.25	2.00	0.67	0.00	2.75	0.00	0.00
感染性胃腸炎	6.58	10.44	4.75	4.25	9.50	2.00	3.00	5.50	10.50	0.00
水痘	2.10	2.00	1.75	0.75	1.50	2.00	0.50	○4.25	△5.00	0.00
手足口病	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発疹	0.77	1.22	0.75	0.75	0.50	0.00	0.50	1.00	0.50	0.00
百日咳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	0.29	0.44	0.25	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	1.00	0.00
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	－	－	－	－	－	0.00	－	－
流行性角結膜炎	0.25	0.33	－	－	－	－	－	0.00	－	－
細菌性髄膜炎	0.09	0.00	0.00	0.50	－	0.00	0.00	0.00	0.00	－
無菌性髄膜炎	0.09	0.00	0.00	0.00	－	1.00	0.00	0.00	0.00	－
マイコプラズマ肺炎	0.45	0.00	3.00	0.00	－	0.00	2.00	0.00	0.00	－
クラミジア肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	－	0.00	0.00	0.00	0.00	－

2009年第9週 年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)

疾病名	性別	～5ヶ月		～11ヶ月		1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
インフルエンザ	男	1	2	9	14	14	33	36	63	57	58	30	116	16	7	7	4	0	0	0	0	1	0	468
	女	0	4	14	12	15	20	51	60	55	50	26	114	14	10	10	6	1	0	0	0	0	0	462
	計	1	6	23	26	29	53	87	123	112	108	56	230	30	17	17	10	1	0	0	0	1	0	930

2009年第9週 年齢階級層別の定点当たり患者報告数(和歌山県)

疾病名	性別	～5ヶ月		～11ヶ月		1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
インフルエンザ	男	0.02	0.04	0.18	0.28	0.28	0.66	0.72	1.26	1.14	1.16	0.60	2.32	0.32	0.14	0.14	0.08	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	9.36
	女	0.00	0.08	0.28	0.24	0.30	0.40	1.02	1.20	1.10	1.00	0.52	2.28	0.28	0.20	0.20	0.12	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.24
	計	0.02	0.12	0.46	0.52	0.58	1.06	1.74	2.46	2.24	2.16	1.12	4.60	0.60	0.34	0.34	0.20	0.02	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	18.60

和歌山県感染症情報（WIDR）2009年第9号

発行日：平成21年3月4日

発行元：和歌山県感染症情報センター

（和歌山県環境衛生研究センター内）

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

（お問い合わせ先）

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生动向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意下さい。